

大河平氏年表

延久二年	1070年	藤原太夫則隆 菊池に下向し定住。
治承四年九月	1180年	菊池六代隆直反平家武装蜂起。
文治元年	1185年	京都で源氏に斬殺さる。五男隆俊分家。八台五郎隆俊となる。
建久二年九月〜十一月	1191年	栄西禅師 狗留孫神社 金毘羅社建立（狗留孫山）
永正十年霜月	1513年	大河平神社の木座像の記載年月日 作者載
天文二十三年三月	1554年	相良を頼る。晴広公これを受け入れ館を築き住まわす。この一連の出来事に隆屋一族も同行し上村周辺に落ち着く。
弘治三年八月	1557年	球磨笠木の戦い二代隆充の嫡男弥左衛門隆豊戦死（雷窓盛居士幕不明）上村勢敗れ頼孝長葦飯野に奔る。この時隆屋一族も飯野に奔る。
永禄元年	1558年	前年末から年初にかけて大河平に定住大河平氏となる。
永禄二年三月	1559年	二代大河平左近将監隆充病死五三才一 中良竿居士 墓不明
永禄五年二月	1562年	初代大河平越前守隆屋病死七三才。源宅宗淵居士 墓不明
永禄五年六月		三代仲太左衛門隆利栗野城で義弘公に臣事する。
永禄六年一月	1563年	三代仲太左衛門隆利病死二八才。玉翁明珠居士 墓不明。
永禄六年六月		大河平を伊東方が攻めたが撃退される。戦死者十名。この功により鍋（永山）、灰塚、榎田の三ヶ所を賜う。柿木原に今城を築く。
永禄七年五月	1564年	伊東方今城を攻める。今城合戦 大河平一族滅亡。
永禄七年十一月		義弘公 加世田六十人衆を率いて飯野城に入る。義弘二九才。
永禄一一年八月	1568年	伊東方の密使 球磨皆越六郎左衛門の兄宅に宿泊密談する。六郎左衛門の妻ナミ（二代隆充の長女）密談を聞き義弘公に告げる。この功により大河平五代目を嗣す。
永禄一一年一二月		大河平神社建立。
元龜三年五月	1572年	木崎原合戦（伊東方三千人で攻めかかるも島津方大勝）
慶長三年十一月	1598年	源太左衛門隆重朝鮮の役にて戦死四十才。称年淨心居士 墓不明。
元和八年五月	1622年	五代左近将監隆俊病死？才。牲山上座墓を敷陣（大河平小学校近く）に建立。
元和八年一二月		六代隆商大守家久公参勤の途上上江にて嫡子隆賢と拝謁する。
寛永十二年七月	1635年	弟細右衛門隆尚（隆重二男）人質として加治木に移らされる。
寛永十二年十月	1636年	六代治部少輔隆商病死五三才。財室宗貞居士の墓を敷陣に建立。
寛永十三年十月	1637年	五代隆俊の室ナミ没九二才。来香妙意大姉の墓を敷陣に建立。
寛永十四年十二月	1638年	七代隆賢鹿兒島で大守家久公に拝謁する。鉄砲拝領。
寛永十五年正月	1639年	七代隆賢鹿兒島城にて年賀鈴羊（ウシ科の一種）献上。叔父隆尚鹿兒島に移る。
寛永十六年	1640年	八代隆良大守光久公に日州吉田にて拝謁。主膳と号す。
万治三年十一月	1660年	七代隆賢江戸にて綱久公より摩利支天御本尊を拝領す。七代隆賢江戸にて又三郎延久公より豊千ノ絵を拝領す。芳牟田山林内において木浦木八重尾氏と論争あり論山と云う。
寛文十二年八月	1672年	八代隆良（たかすけ）病死？才。学宗受積居士 墓敷陣。
寛文十三年五月	1673年	九代隆由光久公参勤のとき日州高岡にて拝謁。休右衛門と号す。
延宝七年一月	1679年	九代隆由鹿城で大守光久公御前にて白銀三枚拝領。
延宝七年二月		七代休兵衛隆賢病死？才。円山享覚居士墓敷陣。
延宝七年四月	1682年	九代隆由光久公参勤のとき拝謁。斑魚一籠竹の子一折献上。
天和二年	1682年	六代隆商三男龍菊こと頼英大和尚位狗留孫山十二代佳職となる。
元禄十年二月	1697年	九代隆由鹿兒島にすむよう命じられる。
元禄十二年三月	1699年	十代隆房 大守綱貴公に拝謁す。
寛文十三年五月	1673年	九代隆由光久公参勤のとき日州高岡で拝謁する。休右衛門と号す。
寛文十二年八月	1672年	八代隆良（たかすけ）病死？才。学宗受積居士 墓敷陣に建立。
元禄十二年三月	1699年	十代隆房 大守綱貴公に拝謁す。
元禄十二年四月	1701年	隆由鹿兒島に移り、弟隆憲大河平在番を代行する。
元禄十四年十一月	1724年	隆憲鹿兒島にて大守綱貴公に拝謁する。喜左衛門と改る。
享保九年春	1726年	地神建立（大河平小学校）
享保十一年八月	1732年	十一代隆雄鹿兒島城にて大守綱貴公に拝謁する。
享保十七年四月	1755年	十二代隆喜 鹿兒島にて大守三郎君に拝謁。休右衛門と改る。
宝暦五年十一月	1764年	千手観音先祖冥福の為建立する。（石床）
明和元年十二月	1773年	十二代隆喜 鹿兒島城にて大守重豪公に拝謁する。休兵衛と改る。
安永二年八月	1783年	十三代隆章 鹿兒島にて大守重豪公に拝謁する。
天明三年十月	1805年	十三代隆章 鹿兒島にて大守齋宣公に拝謁する。休兵衛と改る。
文化二年十二月	1808年	一四代隆政 鹿兒島にて大守齋宣公に拝謁する。
文化五年二月	1829年	十三代隆章大守齋宣公に熊一頭献上する。
文化十二年十月	1834年	十五代隆芳 鹿兒島城にて大守齋興公に拝謁する。
天保五年二月	1835年	十三代隆章五台隆俊・隆屋三男隆汎の墓再興する。墓敷陣。
天保六年九月	1853年	十五代隆芳が大守齋彬公の真幸地方巡見の途中拝謁する。
嘉永六年十二月	1877年	西南の役起こる。大河平鷹丸一家六人惨殺さる。
明治十年二月		
明治十年六月		